



# 1 オフィスのWi-Fiのお困りごと

多くのオフィスで導入されているWi-Fi。しかし、通信の不安定さやセキュリティー面の不安など、様々なお困りごとを抱えているケースが少なくありません。

## オフィスでのWi-Fiに関するお困りごと

企業がWi-Fiを導入して運用していくうえで運用管理やセキュリティーなどが課題となりますが、様々な要因により十分な対応ができていないケースが多く見られます。

### こんなお困りごと、ありませんか？

Wi-Fiの  
調子が悪くて  
つながらない！



一般社員

**頻繁にWi-Fiが切れるから困ってます。**  
情報システム担当者に改善を要望していますが、なかなか改善されません。

管理をする  
スキルも  
人手もない！



情報システム  
担当者

**どう設定すればよいか正直分かりません。**  
情報システムの専任ではないためスキルもないし、手間もかけられません。

Wi-Fiの  
セキュリティー  
は必要？



経営者

**初期設定のままで使っています。**  
特にセキュリティー対策を意識していませんが、大丈夫ですよね？

## お困りごとから派生する影響

Wi-Fiの課題に対して十分な対策ができていない結果、業務効率が低下するなど業務自体に大きな影響を及ぼすことがあります。更に、サイバー犯罪被害に直面するリスクも高まります。

- Wi-Fi接続が不安定のためメールが受信できない、または遅滞する
- リモート会議中の通信切断が頻発し、会議が何度も中断する
- 通信切断の原因が特定できないためにトラブルが長期化し、業務が停滞する

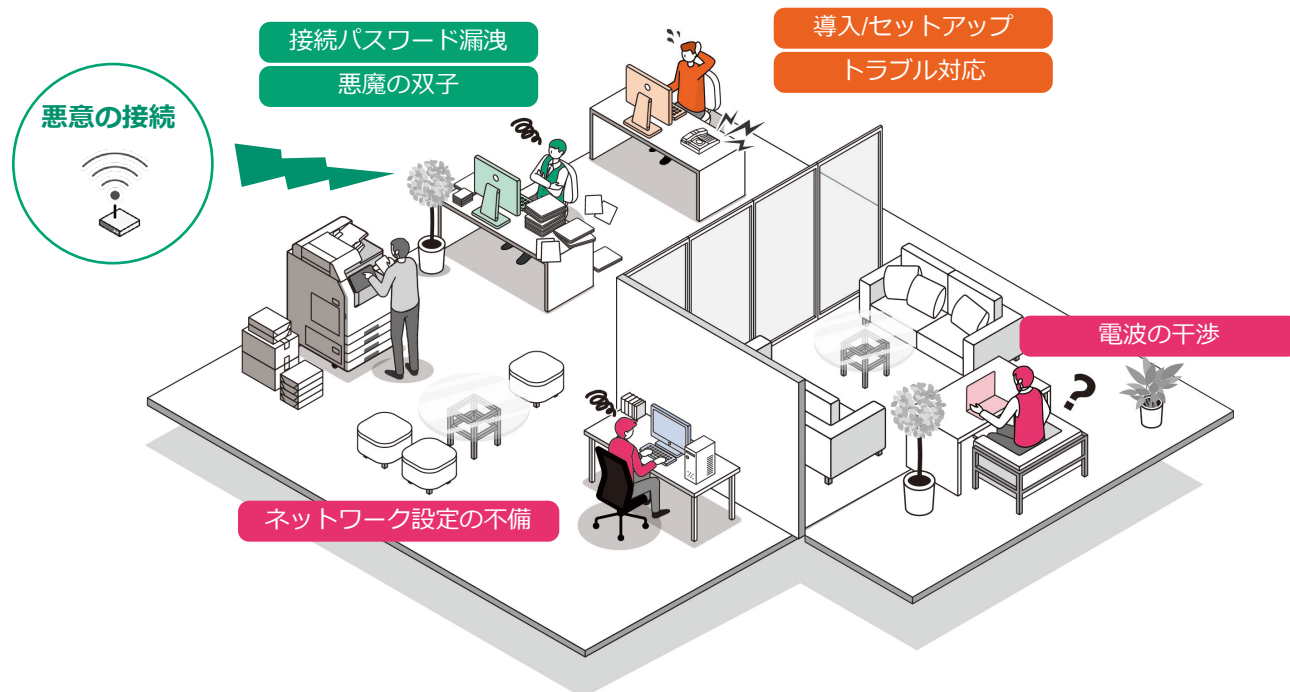
業務効率の低下

- 暗号化の強度が低い場合に第三者に通信が傍受され、情報が漏洩する
- Wi-Fi環境を起点に悪意のある第三者に侵入され、情報が改ざんされる
- 1つのパスワードで運用することが要因で第三者にアクセスされる

セキュリティーリスクの増大

## オフィスで発生する「Wi-Fiのお困りごと」の詳細

オフィスで発生するお困りごとには様々な種類があります。パスワードや情報の搾取などの「セキュリティ関連」、導入/セットアップやトラブル対応に手間がかかるなどの「導入や運用の負担」、電波干渉や設定不備などの「通信の安定性」などが代表的なものとなります。



### 導入/セットアップ

情報システム担当者のスキルが不十分の場合、自社に適した機器を選定することが困難です。また、セキュリティ設定が正しく行われず、トラブルに繋がるケースもあります。

### トラブル対応

通信が不安定な状況が頻発するとトラブル対応に膨大な手間がかかり、原因特定ができないケースでは業務の停滞に繋がります。また、社内からの問い合わせ対応にも追われます。

### 接続パスワード漏洩

退職者が悪意で接続パスワードを持ち出せば、不正接続が可能となります。情報窃取や重要データ削除をされた場合、重大なセキュリティ事故になることもあります。

### 悪魔の双子

同じ名称の偽Wi-Fiを強力な電波で発信することで、偽物のWi-Fiに接続させる攻撃手法。接続端末の情報搾取、Wi-Fiのパスワード搾取など、様々な攻撃に応用できてしまいます。

### 電波の干渉

近隣のWi-Fi電波や、家電製品から出る電磁波などがオフィスのWi-Fi電波と干渉してしまい、通信速度低下、通信遮断、通信不安定などを引き起こす可能性があります。

### ネットワーク設定の不備

Wi-Fiの電波強度の設定や、機器のネットワーク設定の不備、IPアドレス割り当て範囲の不備などが、通信不安定などを引き起こす可能性があります。

オフィスのWi-Fiは、設置から運用まで様々な手間がかかり、セキュリティの不安もついてまわります。

設定もセキュリティも運用もおまかせできる  
**beat air サービスをおすすめします！**

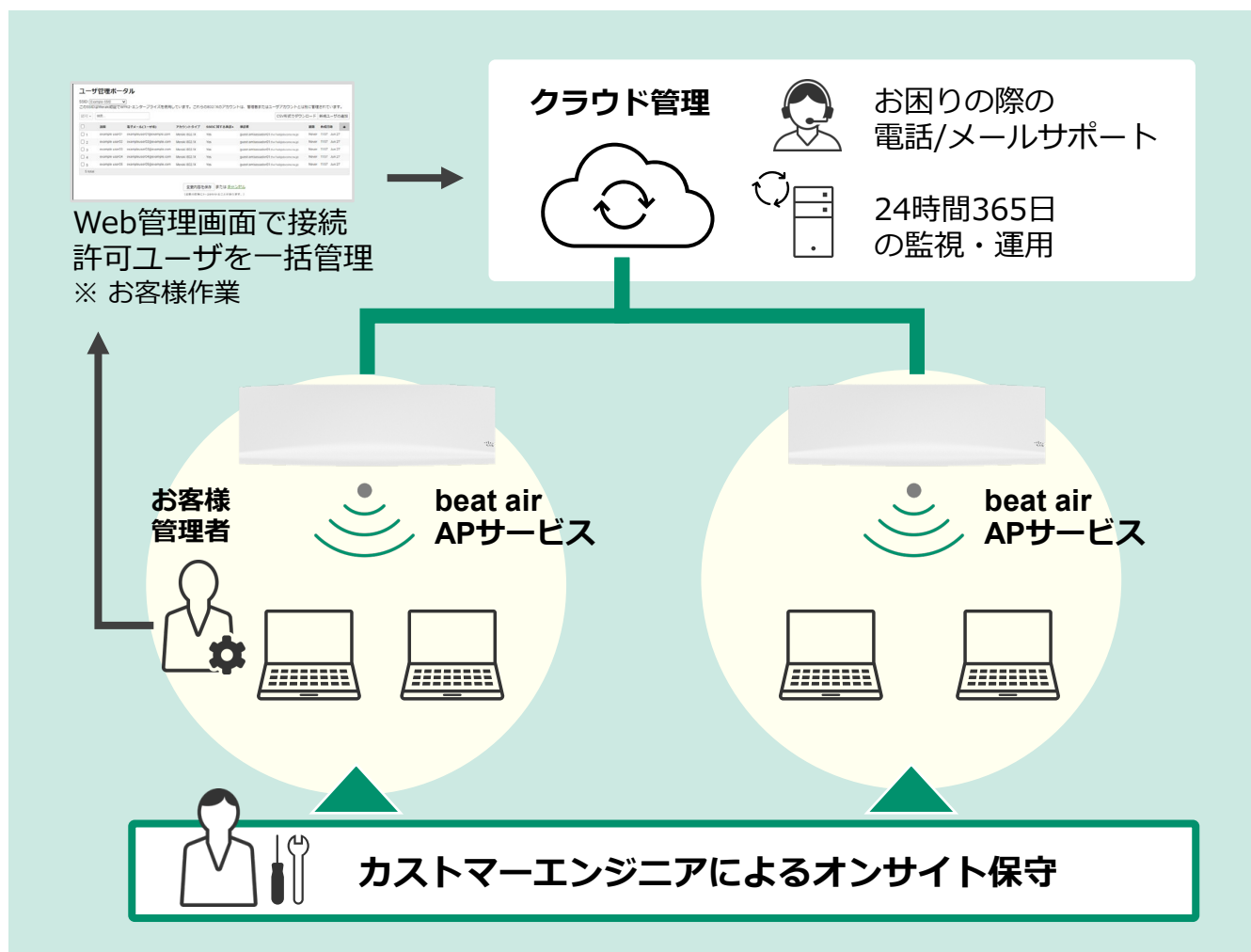


# 2 beat air サービスとは

Wi-Fi環境の構築や運用にお困りの企業にぜひおススメしたいのは、Wi-Fi環境のアウトソーシングサービス「beat air サービス」です。

## beat air サービスとは

beat air サービスは、中小企業向けに安心して安全なWi-Fi環境をご提供するサービスです。アウトソーシングサービスのため、設置から運用まで一連のサービスをお任せいただけます。Wi-Fi単独の基本サービスとしてご利用いただけますので、既に他社UTM/VPN機器がある環境にも導入いただけます。



## 主な特長

### ①セキュアなWi-Fi環境を手間をかけずに導入可能

法人利用に必要な設定を事前にセットアップ。手間をかけずに、セキュアなWi-Fi環境を導入できます。

### ②日常の設定変更もおまかせ。快適なWi-Fi環境を利用可能

チャネル設定や電波強度設定も自動。手間をかけずに快適なWi-Fi環境を利用できます。

### ③リモート対応と訪問対応の手厚いサポート

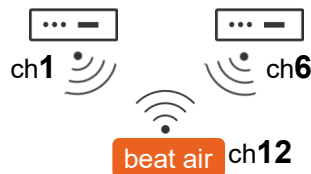
お困りごとが発生した際は、早期解決に向けて手厚いサポート体制で支援します。

## beat air サービスの機能

ご提供機器は、安心のCisco Meraki MRシリーズ※を採用。高いITスキルが必要な設計・運用をbeat air サービスが手厚くサポートします。

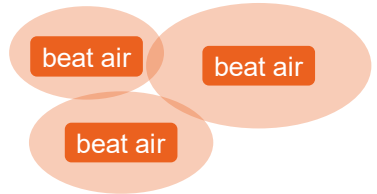
### Auto-Channel

最適なチャネルへの設定変更を自動で行います。CHが被らずに、電波が安定します。



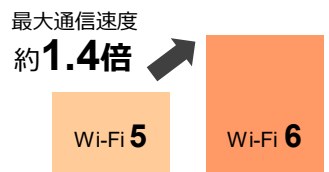
### Auto-TX

電波強度の設定を自動で行います。担当者が個別に設定する必要がありません。



### 無線規格 Wi-Fi6 に対応

Wi-Fi6に対応することにより、通信の高速化と安定化、混雑時の通信品質向上が実現しました。



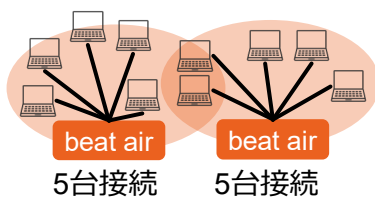
### クライアントローミング

Wi-Fi機器をまたぐ移動をしても、自動で接続を受け渡し。切断がありません。



### クライアントバランシング

各Wi-Fi機器の混雑状況をみて、接続台数のバランスを自動で調節します。



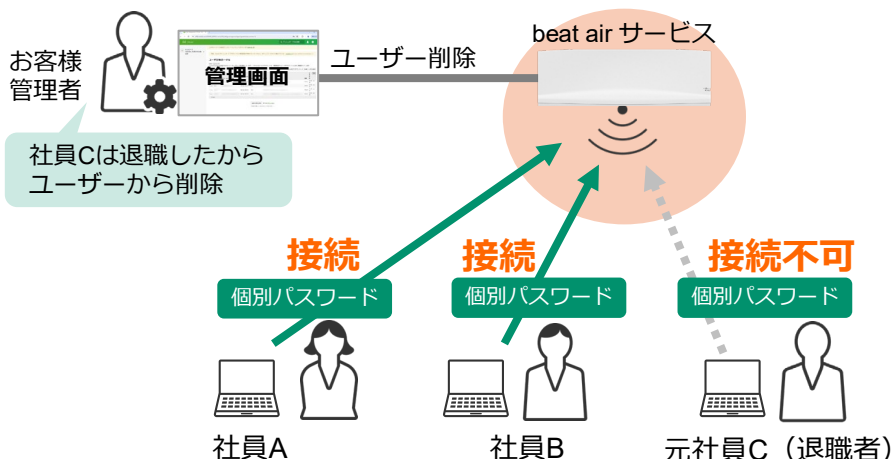
※Cisco Meraki MRシリーズは、クラウド上で管理が可能なWi-Fiアクセスポイントです。高性能でセキュアなWi-Fi環境をご提供します。

## beat air サービスのセキュリティ

beat air サービスは、ユーザー個別認証や通信の自動監視機能など、安全にWi-Fiをご利用いただけるセキュリティ機能を標準でご利用いただけます。

### ユーザー個別認証

登録したユーザーごとに、個別にパスワードを発行。利用しなくなったユーザーは接続不可となり、不正が起きない安全なWi-Fi環境を実現。



### 通信の自動監視

周囲のWi-Fi電波や、そこに流れる通信を監視し自動でリスクに対処。



# 3 充実のサポート

24時間のリモート監視や万が一の故障に備えたオンサイト保守を標準でご提供。専門の知識がなくてもWi-Fi環境の運用が可能です。

## 24時間 リモート監視

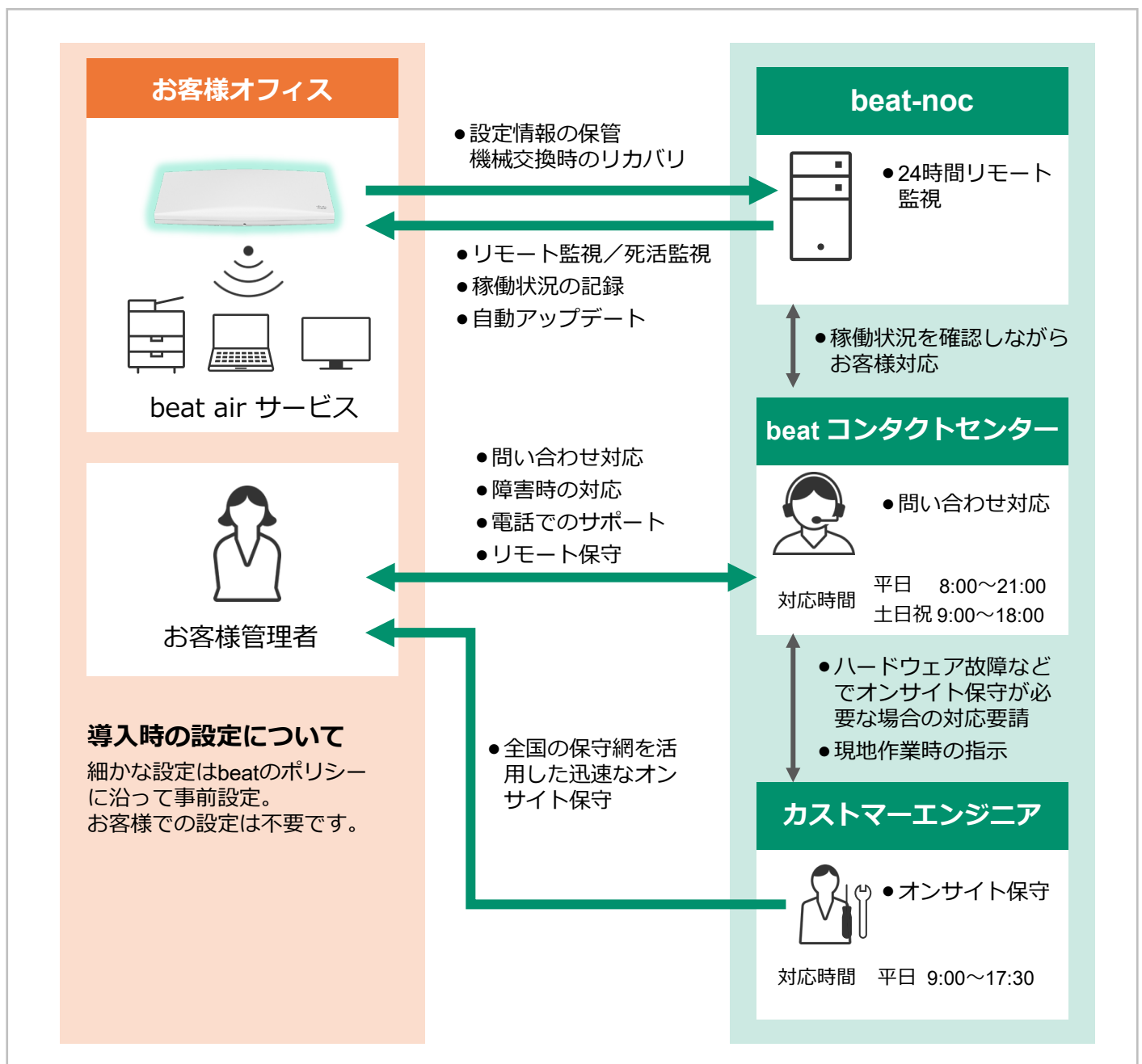
機器の稼働状況を  
リモートで常時監視

## 親切丁寧な 電話サポート

専門スタッフが  
問い合わせに対応

## エンジニアによる オンサイト保守

約300カ所のサービス  
拠点でお客様をサポート



## 仕様

### 機器の仕様

	beat air アクセスポイントS / セキュアアクセスポイントS	beat air アクセスポイントM / セキュアアクセスポイントM	beat air アクセスポイントL / セキュアアクセスポイントL
ハードウェア 機種	Cisco Meraki MR28	Cisco Meraki MR36	Cisco Meraki MR46
接続端末数 目安	25台	50台	100台
推奨利用環境	低密度	低密度	高密度
アンテナ	内蔵	内蔵	内蔵
設置環境	屋内 気温0℃～40℃ / 湿度5～95% 手の届く範囲の平置きを推奨		
電源	付属の電源アダプタでの給電を推奨 PoE給電はサポート対象外		
対応PoE規格	802.3af	802.3af	802.3at
2.4GHz無線	802.11b/g/n/ax 2×2:2 UL MU-MIMO &OFDMA 最大286Mbps	802.11b/g/n/ax 2×2:2 UL MU-MIMO &OFDMA 最大286Mbps	802.11b/g/n/ax 4×4:4 MU-MIMO &OFDMA 最大574Mbps
5GHz無線	802.11a/n/ac/ax 2×2:2 UL MU-MIMO &OFDMA 最大1,201Mbps	802.11a/n/ac/ax 2×2:2 UL MU-MIMO &OFDMA 最大1,201Mbps	802.11a/n/ac/ax 4×4:4 UL MU-MIMO &OFDMA 最大2,402Mbps
ゲスト用Wi-Fi環境	○		
SSIDご提供数	同一拠点につき 業務用：1（ブリッジモード） ゲスト用：1（NATモード）		
セキュリティ・電波状況 監視専用アンテナ	×	○	○
インターフェース	1×1GB	1×1GB	1×2.5GB
クラウド型 セキュリティ機能※	× （セキュアアクセスポイント：○）		
寸法（mm）	202 × 124 × 25.8	250 × 120 × 36.1	306 × 128.4 × 44.3
重量（g）	272	492	800

※Wi-Fiに接続した端末のインターネット通信に対して、危険性のある通信先、好ましくない通信先へのアクセスを遮断します。

### 機種の違いによる機能差

	beat air アクセスポイントS セキュアアクセスポイントS	beat air アクセスポイントM/L セキュアアクセスポイントM/L
セキュリティ （Air Marshal機能）	無線端末が接続されているチャンネルはリアルタイムで脅威のスキャンがされますが、その他のチャンネルに関しては1日1回、もしくは無線端末が接続していないタイミングでスキャンをかけます。上位機種と比較して、Air Marshal機能のカバー範囲が限定的になります。	リアルタイムにすべてのチャンネルに対して、不正なSSID、DoS攻撃、Packet Floods、などの脅威をスキャンしネットワークを保護します。
Wi-Fi 自動調節 （自動チャンネル変更機能）	「Opportunistic Auto Channel」 電波状況を2時間ごとに収集しますが、使用されていないチャンネルのスキャンは無線端末が接続されていない場合のみ実行します。収集する電波状況やチャンネル変更アルゴリズムは上位機種と同等ですが、チャンネル変更の頻度は少なくなります。上位機種と比較して、チャンネル変更の頻度が少なくなります。	「Real-Time Auto Channel」 専用アンテナで常に周囲の電波状況をスキャンしています。そのため、より電波状況が優れているチャンネルへの変更をスピーディに行うことができます（15分ごとに変更するか判断）。これは高密度な環境では特に効果を発揮します。
Wi-Fi 自動調節 （自動送信電力（電波強度）変更機能）	「Opportunistic Auto TX」 隣接するアクセスポイントの情報をリアルタイムに収集できないため、上位機種とは異なるアルゴリズムで送信電力（電波強度）変更を行います。情報収集に時間を要するため変更にも時間がかかります。上位機種と比較して、「移動してもなかなかローミングしない」や、「遠くのアクセスポイントにつながっている」といったような事象が発生するケースがあります。	「Auto TX」 隣接するアクセスポイントの情報をリアルタイムに収集し20分間隔で最適な送信電力（電波強度）を決定します。

## サービス一覧

サービス名称	必須/任意	詳細
<b>基本サービス</b>		
beat air サービス ※1	●	本サービスをご利用いただくために必須となる基本のサービス。
beat air 初期登録サービス	★	beat airサービスのご契約時に必須となるサービス。
<b>オプションサービス</b>		
beat air アクセスポイント [S/M/L]サービス ※2	○	運用管理/サポート込みのWi-Fi機器をご提供する月額サービス。
beat air セキュアアクセスポイント [S/M/L] サービス ※2	○	運用管理/サポート込みのWi-Fi機器に、クラウド型セキュリティー機能を付加してご提供する月額サービス。
beat air アクセスポイント初期登録サービス	☆	beat air アクセスポイントのご契約時に必須となるサービス。

●：必ず申し込む必要があるサービス（月額）      ★：必ず申し込む必要があるサービス（初期料金）      ○：任意で申し込むサービス（月額）  
☆：任意で申し込むサービス（初期料金）

※1：基本サービスのみではご契約できず、必ず1台以上の「beat air アクセスポイント」をご契約いただく必要があります。

※2：一つの基本サービス契約に対して、S/M/L、それぞれ10台ずつ、最大30台までご契約いただけます。

※3：beat air サービスはご利用開始から2年間の最低利用期間がございます。

**FUJIFILM**

富士フイルム ビジネス イノベーション株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3

**fujifilm.com/fb**

お問い合わせは  
**0120-27-4100**

受付時間：土、日、祝日および当社指定休業日を除く9時～12時、13時～17時。フリーダイヤルは、海外からはご利用いただけません。また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。※お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただきますことがあります。

この商品に対するお問い合わせは、下記の営業担当へ

●記載内容及び商品の仕様、外観等は改良のため予告なく変更する場合があります。また、商品の色調は、フィルム、印刷インキの性質上、実際の色とは異なっている場合があります。あらかじめご了承ください。●FUJIFILM、およびFUJIFILMロゴは、富士フィルム株式会社の登録商標または商標です。●その他の社名または商品名等は、それぞれ各社の商標、または登録商標です。

この内容は2025年9月現在のものです。